

事業番号	125	事業の名称	講座等企画事業	担当部署	部	課
					教育部	中央図書館

事業の概要	乳幼児から小学生を対象におはなし会を開催、一般を対象に講座、講演会、企画展示を開催。 おはなし会(毎月第2,3,4土曜日、毎月第1,3木曜日)、児童書講演会(年1回) 図書館講座(年1回)、現代美術展(年1回11月頃開催)、中学生美術展(年1回12月開催) 大学等連携事業、閲覧室企画展示(年16回程開催) H25年度から新規事業としてブックスタートを実施(月2回。絵本に親しみふれあう機会を提供するため、主に0歳児を対象におはなし会にて読み聞かせを行い、絵本とバッグをセットにしたブックスタートバックを配布する。長久手市子ども読書活動推進計画施策の一つ。)				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	おはなし会、児童書講演会、図書館講座は全国の公共図書館のほとんどで実施されている。 美術展は長久手市中央図書館がギャラリーを併設するため、実施が可能となり、特色ある事業となっている。 ブックスタートは、H24年度現在、全国の48%の自治体にて実施。							
	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算		H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討					
事業期間	事業開始年度	平成4年度	終了(予定)年度	—	うち	一般財源	745		554	1,447	1,674	1,783	
事業の対象 (だれ、何に対して)	全ての市民と図書館利用者				総事業費	国費・県費	745		554	1,447	1,674	1,783	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。					地方債							
						その他							
						受益者負担額							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		4月~							H24実績		成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		7月~	10月~	1月~	H25実績				単位	H25予算		H25決算				
① おはなし会	全ての市民 と図書館利用者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	延参加者数 3,245人	参加者数	3,351	人	前年実績が最大値となった。会場の収容能力から判断し前年度並みを目標とする。	17	15	ボランティア保険料	A	現行どおり実施していく。	
② 児童書講演会	全ての市民 と図書館利用者	●	●	●	●	年1回開催 延参加者数 110人	参加者へのアンケート調査による 満足度	76	%	高い評価を受けていることから過去の実績並みを目標とする。 (過去2年間の平均値が85%)	300	256	児童書講演会委託	A	現行どおり実施していく。	
③ 図書館講座	全ての市民 と図書館利用者	●●	●●	●●	●●	年1講座(4回) うち初心者 向3回、 中級者向1回	参加者へのアンケート調査による ボランティア参加を希望した人の割合	0	%	過去の実績並みを目標とする。 (H25年度は講師都合により講座中止)	100	0	図書館講座講師謝礼	A	現行どおり実施していく。	
④ 現代美術展	全ての市民 と図書館利用者	●	●	●	●	年1回開催	来場者数	145	人	来場者数に減少傾向があるため、前年度並みを目標とする。	300	259	ギャラリー企画展監修等報償金 20 ギャラリー企画展出品協力者報償金 60 印刷製本費 16 損害保険料 2	A	現行どおり実施していく。 H25年度は開催回数をH24年度より1回減らし、内容の充実を図った。今後も事業費をかけない方向で維持する。	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

事業番号	125	事業の名称	講座等企画事業	担当部署	部	課
					教育部	中央図書館

事業の概要	乳幼児から小学生を対象におはなし会を開催、一般を対象に講座、講演会、企画展示を開催。 おはなし会(毎月第2,3,4土曜日、毎月第1,3木曜日)、児童書講演会(年1回) 図書館講座(年1回)、現代美術展(年1回11月頃開催)、中学生美術展(年1回12月開催) 大学等連携事業、閲覧室企画展示(年16回程開催) H25年度から新規事業としてブックスタートを実施(月2回。絵本に親しみふれあう機会を提供するため、主に0歳児を対象におはなし会にて読み聞かせを行い、絵本とバッグをセットにしたブックスタートパックを配布する。長久手市子ども読書活動推進計画施策の一つ。)				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	おはなし会、児童書講演会、図書館講座は全国の公共図書館のほとんどで実施されている。 美術展は長久手市中央図書館がギャラリーを併設するため、実施が可能となり、特色ある事業となっている。 ブックスタートは、H24年度現在、全国の48%の自治体にて実施。							
	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算		H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討					
事業期間	事業開始年度	平成4年度	終了(予定)年度	—	うち 一般財源	745	554		1,447	1,674	1,783		
事業の対象 (だれ、何に対して)	全ての市民と図書館利用者					うち 国費・県費	745		554	1,447	1,674	1,783	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。						うち 地方債						
									うち その他				
					受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		H24実績							単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~						H25実績	H25予算				H25決算
⑤ 中学生美術展	全ての市民 と図書館利用 者	●				図書館に親しみ、市民の教養、レクリエーション等に寄与する。	年1回開催 延参加者数 49人	来場者へのアンケート調査による美術展への満足度	94	%	過去から高い評価を受けているため、前年度並みを目標とする。	28	24	監修者用図書券 15 参加賞 27	A	現行どおり実施していく。 事業費については、H25年度に北中学校新設に伴い、展示作品も増え、事業内容が充実した。
⑥ ブックスタート	0歳から2歳 までの乳幼児 (市民のみ)	●●●●●●●●●●				中央図書館おはなし会にて絵本の読み聞かせを行い、絵本とバッグをセットにしたブックスタートパックを配布することで	年17回開催 延参加者数 86人	参加者数	86	人	H25.4以降出生の0歳児を対象とする。おはなし会参加は生後6か月頃から推奨するため、生後6か月以降をおはなし会参加者対象とした。(H25年度からの新規事業/1か月平均出生数50人×7か月(9~3月)=350人)	600	968	配布用パンフレット 205 配布用絵本 687 エプロン他 76	A	現行どおり実施していく。
⑦ 児童館連携	市内児童館 利用の市民	●●●●●●●●●●				児童館図書室の環境整備を行い、中央図書館の蔵書を1児童館につき、180日間、500冊までの団体貸出を行うことで	年間団体貸 出冊数 119冊(児童館1か所)	団体貸出数	119	冊	貸出数を読書活動推進の指標とする。25年度からの新事業のため各児童館の今後の要望に応じ対応する。	250	205	団体貸出用図書購入費	A	現行どおり実施していく。 H26年度は司書資格を持つ中央図書館嘱託職員が2名増となった。対象とする児童館を増やし、子ども読書活動推進計画の推進を図る。
⑧																

事務事業 改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	